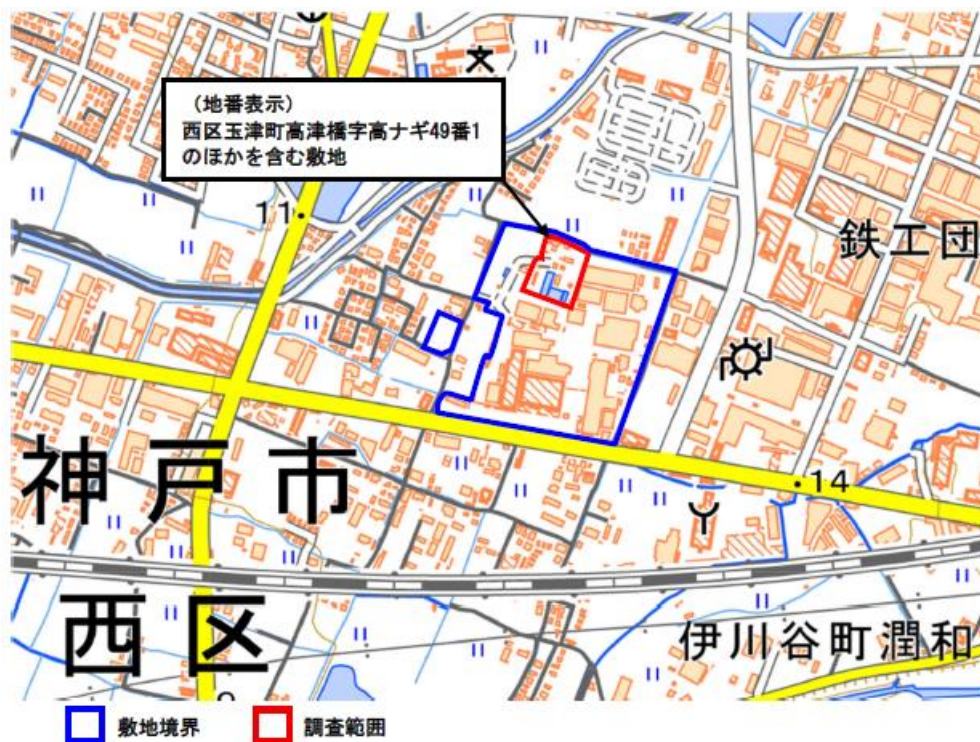


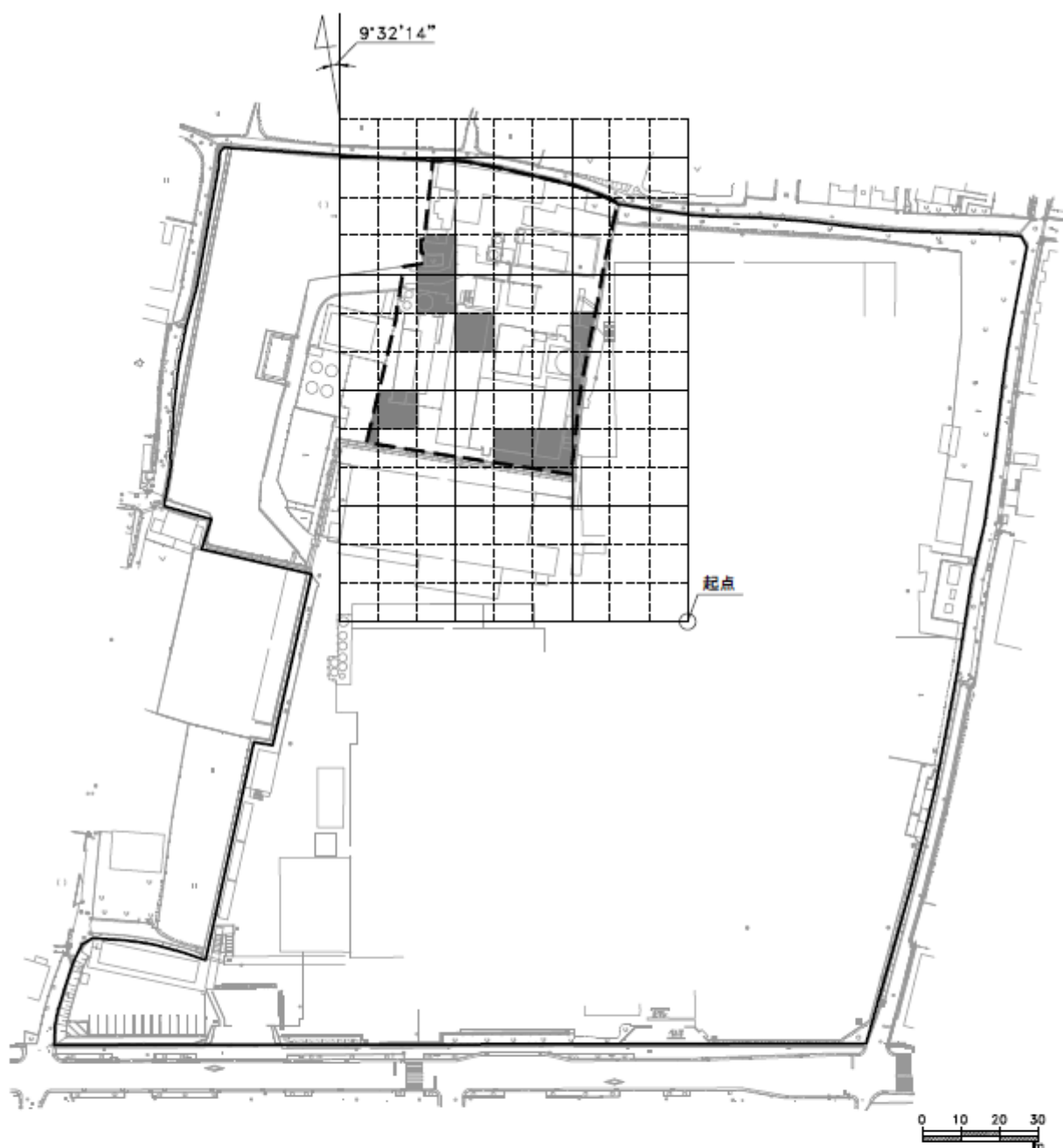
土壌汚染対策法に基づく「形質変更時要届出区域」の指定

1. 区域指定の概要	
指定する区域（地番）	西区玉津町高津橋字高ナギ 49 番 1、54 番 1、55 番 1、55 番 2 の各一部
指定の区分	☐ 要措置区域 ☒ 形質変更時要届出区域
指定の区分の理由	健康被害を生じるおそれがないため「要措置区域」ではなく、法第 11 条第 1 項で規定されている「形質変更時要届出区域」に指定
指定年月日	令和 8 年 9 月 3 日
特定有害物質の種類	鉛及びその化合物、ふっ素及びその化合物
2. 土壌汚染状況調査結果の概要	
調査の契機	土壌汚染対策法 ☐ 第 3 条 ☒ 第 4 条 ☐ 第 14 条 ☐ その他（ ）
試料採取等対象物質	地歴調査により土壌汚染のおそれがあると認められた、ベンゼン、シアン化合物、鉛及びその化合物、ふっ素及びその化合物、ほう素及びその化合物
土地の地歴調査結果	・工場として使用されていた。 ・分析試薬等に特定有害物質が含まれていた他、燃料としてガソリンを使用していた。
土壌の測定結果	鉛及びその化合物 溶出量最大値 0.2mg/L（指定基準値 0.01mg/L） ふっ素及びその化合物 溶出量最大値 1.6mg/L（指定基準値 0.8mg/L）
区域指定する土地の面積	725.54 m ²
土壌汚染の原因	事業活動によるものと考えられる。
3. 周辺環境への影響	
地下水飲用	☐ 健康影響のおそれがある（理由：周辺に地下水飲用井戸がある） ☒ 健康影響のおそれはない（理由：周辺に地下水飲用井戸がない）
土壌の直接摂取 （含有量超過はない）	☐ 健康影響のおそれがある（理由：土壌を直接摂取するおそれがある） ☒ 健康影響のおそれはない（理由：土壌を直接摂取するおそれがない）
4. 今後の対応	
土地の形質変更が行われる際には、周辺環境への影響が生じないように土壌汚染対策法に基づき適正に措置するよう指導する	

位置図



指定区域図



【凡 例】

- 敷地境界
- 起点
- - - 調査範囲
- 形質変更時要届出区域

【起 点】

起点は、既往調査時
(世界測地系座標 (第5系) $X=-147652.967$, $Y=60785.532$)
の調査起点と同じ位置とする。

【格子の回転角度】

9° 32' 14"
起点を通り、東西方向及び南北方向に引いた線並びにこれらと
平行して10m間隔で引いた線により形成される格子を起点を
支点として座標北から時計回りに回転させた角度を示す。